



ミュージア川崎シンフォニーホール & 東京交響楽団

名曲全集 第212回

*MUZA Kawasaki Symphony Hall & Tokyo Symphony Orchestra
The Masterpiece Classics Series No. 212*

2025年11月23日(日・祝)

Sunday, 23rd November, 2025

ミュージア川崎シンフォニーホール

MUZA Kawasaki Symphony Hall

アンケートにご協力をお願いします
<https://gws-net.com/muza/>



音楽をお楽しみ いただくために



皆様にコンサートを
お楽しみいただくために、
ご協力をお願いいたします。



開演中は、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末など音や光を発する電子機器の電源をお切りください。光を強く反射する物は鞆におしまってください。



時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。



ハウリングの発生を防ぐために、補聴器などが正しく装着されていることをご確認ください。



演奏中の入退場はご遠慮ください。全席指定の公演です。ご自分の席でお聴きください。



許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断りいたします(カーテンコール時を除く)。



演奏中に音が出ないように十分ご注意ください(鈴のついたお手荷物・飴の包みを開ける際の音・プログラムをめくる音など)。



演奏中の会話はお控えください。



演奏が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから拍手・ブラボーなどの声援をお送りください。



客席内での飲食はご遠慮ください。



館内では咳エチケット・適切な手指消毒を推奨しております。

カーテンコールの撮影について

「名曲全集」シリーズでは、終演後のカーテンコールの撮影が可能です。撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。



※アンコール演奏中は撮影いただけません。

※フラッシュの使用、目線より高い位置での撮影はご遠慮ください。

※SNSなどに掲載する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。

※スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。



ホール2階
ドリンクコーナー営業中

開演前のひとときにご利用ください。



ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 第212回

MUZA Kawasaki Symphony Hall & Tokyo Symphony Orchestra
The Masterpiece Classics Series No. 2122025年11月23日(日・祝)14:00 Sunday, 23rd November, 2025, 14:00
ミューザ川崎シンフォニーホール MUZA Kawasaki Symphony Hall※本日の公演には、休憩はございません。
There will be no intermission.武満 徹：セレモニアル (10')
Toru Takemitsu: Ceremonial — An Autumn Ode —マーラー：交響曲 第9番 ニ長調 (83')
Gustav Mahler: Symphony No. 9 in D major

- I アンダンテ・コモド
Andante comodo
- II ゆるやかなレントラーのテンポで、ややきこちなくきわめて粗野に
Im Tempo eines gemächlichen Ländlers. Etwas täppisch und sehr derb
- III ロンド・ブルレスケ アレグロ・アッサイ、きわめて反抗的に
Rondo-Burleske. Allegro assai, Sehr trotzig
- IV アダージョ
Adagio. Sehr langsam und noch zurückhaltend

※演奏時間は目安です

指揮：ジョナサン・ノット
Jonathan Nott, Conductor笙：宮田まゆみ
Mayumi Miyata, Sho管弦楽：東京交響楽団
Tokyo Symphony Orchestra, Orchestraコンサートマスター：小林 壺成
Issey Kobayashi, Concertmaster

本日の公演は「ニコニコ東京交響楽団」(ニコニコ生放送)による無料生配信を行います。
客席内・舞台上に収録カメラが入っております。
なにとぞご了承ください。

視聴サイト「ニコニコ東京交響楽団」(会員登録不要)
<https://live.nicovideo.jp/watch/lv347297713>主催：ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
公益財団法人 東京交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

後援：在日スイス大使館
ブリティッシュ・カウンシル



©K.Miura

指揮 Conductor

ジョナサン・ノット Jonathan Nott

2014年度より東京交響楽団第3代音楽監督。

1962年イギリス生まれ。ケンブリッジ大学で音楽を専攻し、マンチェスターのロイヤル・ノーザン・カレッジでは声楽とフルートを学び、その後ロンドンで指揮を学んだ。フランクフルト歌劇場とヴァースバーデン・ヘッセン州立劇場で指揮者としてのキャリアをスタートし、ルツェルン交響楽団首席指揮者兼ルツェルン劇場音楽監督、アンサンブル・アンテルコンタンポラン音楽監督、バンベルク交響楽団首席指揮者、2017年よりスイス・ロマンド管弦楽団の音楽監督も務めている。古典から現代曲まで幅広いレパートリーと抜群のセンスによる絶妙なプログラミングは、聴衆に新しい音楽体験と驚きをもたらせ絶大な支持を得ている。ミュンヘン・ザクセンホール開館15周年記念公演「グレの歌」や、3年がかりで取り組んだ「モーツァルト 演奏会形式オペラシリーズ」、2022～24年「R.シュトラウス コンサートオペラシリーズ」はいずれも高い評価を得た。

2010年バンベルク交響楽団とのCDが、世界で権威ある仏Midem音楽賞最優秀交響曲・管弦楽作品部門賞受賞。2009年バイエルン文化賞受賞。2016年バンベルク大聖堂にて大司教より功労勲章を授与。東京交響楽団とともに2020年「ミュージック・ペンクラブ音楽賞（オペラ・オーケストラ部門）」を、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」、毎日クラシックナビ「公演ベスト10」において、R.シュトラウス・コンサートオペラシリーズ『サロメ』、『エレクトラ』をベストコンサートに導く。

レコーディング活動においても多彩な才能を発揮。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団やベルリン・フィルハーモニー管弦楽団との録音のほか、東京交響楽団とはオクタヴィアレコードより多くのCDをリリースしている。

教育活動にも熱心で、2014年秋にユンゲ・ドイチュェ・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者兼芸術顧問に就任。カールスルーエとルツェルンの音楽院でも教鞭をとるほか、G.ドゥダメルを輩出した「マーラー国際指揮者コンクール」も統括した。2026/27シーズンからスペイン・バルセロナのリセウ大劇場音楽監督に就任する。



©futaishi tomoki

笙 Sho

宮田まゆみ Mayumi Miyata

東洋の伝統楽器「笙(しょう)」を国際的に広めた第一人者。古典雅楽はもとより、現代音楽、オーケストラとの共演などにより、「笙」の多彩な可能性を積極的に追求している。

国立音楽大学ピアノ科卒業後、雅楽を学ぶ。1979年より国立劇場の雅楽公演に出演。1983年より笙のリサイタルを行って注目を集める。古典雅楽はもとより、武満徹、ジョン・ケージ、ヘルムート・ラッヘンマン、細川俊夫など現代作品の初演も数多く、小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラ、シャルル・デュトワ指揮NHK交響楽団、アンドレ・プレヴィン指揮ニューヨーク・フィルハーモニック、ウラディーミル・アシュケナーヅ指揮チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、大野和士指揮ベルギー王立歌劇場管弦楽団、ジョナサン・ノット指揮バンベルク交響楽団、準・メルクル指揮リヨン国立管弦楽団、アレクサンダー・リープライヒ指揮ミュンヘン室内管弦楽団、佐渡裕指揮ベルリン・ドイツ交響楽団、BBC交響楽団、WDRケルン放送交響楽団ほか国内外のトップオーケストラと数多く共演。加えて、ザルツブルク、ウィーン・モデルン、ルツェルン、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン、パリの秋、アヴィニヨン、ダルムシュタット、ドナウエッシンゲン、タングルウッドをはじめとする各国の音楽祭への参加、ウィーン、パリ、アムステルダム、ミラノ、ニューヨークなどでのリサイタルと幅広く活躍。近年ではケージ『One9(笙独奏のための)』全曲演奏会、古典「調子・入調」全曲演奏会などでも高く評価されている。

1998年の長野オリンピック開会式で「君が代」演奏の模様は全世界からの注目を集めた。

芸術選奨文部大臣新人賞、エイボン女性年度賞「芸術賞」、中島健蔵賞、横浜文化賞奨励賞、日本伝統文化振興賞、佐治敬三賞、松尾芸能賞優秀賞、芸術選奨文部科学大臣賞をそれぞれ受賞。2018年秋の褒章において紫綬褒章を受章。2021年度国際交流基金賞受賞。国立音楽大学招聘教授。

川崎市フランチャイズオーケストラ Resident Orchestra for the City of Kawasaki



東京交響楽団

Tokyo Symphony Orchestra

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に改称し、現在に至る。
2004年7月より、川崎市のフランチャイズオーケストラとしてミュゼ川崎シンフォニーホールを拠点に定期演奏会や特別演奏会を開催し、市内での音楽鑑賞教室や巡回公演、川崎フロンタールへの応援曲の提供など多岐にわたる活動を行う。川崎市文化賞、文部大臣賞をはじめとする日本の主要な音楽賞のほとんどを受賞。新国立劇場開場時よりレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当し、教育面では「0歳からのオーケストラ」などが注目されている。海外公演も多く、ウィーン楽友協会を含む58都市80公演を開催。2024年より、アジア全体の音楽文化の向上を図る「東京交響楽団アジア・プロジェクト」を展開している。
日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でミュゼ川崎シンフォニーホールからライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年には史上最多45カメラで《第九》公演を配信した。2020年には「マッチングギフトコンサート」が川崎市の支援のもと開催され、自治体とオーケストラによる前例のない取組みが注目を集めた。
2014年シーズンより第3代音楽監督に就任した音楽監督ジョナサン・ノットとともに、日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集めている。「モーツァルト 演奏会形式オペラシリーズ」、ミュゼ川崎シンフォニーホール開館15周年記念公演《グレの歌》に続き、「R.シュトラウス コンサートオペラシリーズ」は、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」において、第1弾《サロメ》(2022年)が第2位、第2弾《エレクトラ》(2023年)が第1位に選出。2024年12月の第3弾《ばらの騎士》も大絶賛を博した。2026年4月より第4代音楽監督としてロレンツォ・ヴィオッティが就任予定、楽団創立80周年を迎える。 公式サイト：https://tokyosymphony.jp

音楽監督 ジョナサン・ノット	名誉コンサートマスター 大谷康子
桂冠指揮者 ユベール・スターン	第1コンサートマスター ... 小川ニキティングレブ
正指揮者 原田慶太楼	景山昌太郎
名誉客演指揮者 大友直人	小林吾成
永久名誉音楽監督 秋山和慶◆	コンサートマスター 田尻 順
永久名誉指揮者 アルヴィド・ヤンソンス◆	吉江美桜*
	上田 仁◆
	遠山信二◆

<p>第1ヴァイオリン</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木村正貴 ○堀内幸子 ○森岡ゆりあ ○小川敦子 立岡百合恵 土屋杏子 中村楓子 水谷有里 吉川万理 	<p>ヴィオラ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎青木篤子 ◎武生直子 ◎西村真紀 ◎多井千洋 ○山廣みほ 新井瑞穂 小西広興 鈴木まり奈 	<p>コントラバス</p> <ul style="list-style-type: none"> 回助川 龍 ◎ユーティ・ローズブーム ○北村一平 ◎久松ちず 安田修平 渡邊淳子 内岡沙月* 	<p>クラリネット</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎エマニエル・ヌグー ◎吉野亜希菜 近藤千花子 務川広貴* 	<p>トランペット</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎澤田真人 ◎ローリー ディラン 野沢岳史● 松山 萌 	<p>ティンパニ&打楽器</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎清水 太 ◎山村雄大 武山芳史 綱川淳美 	<p>ライブラリアン</p> <ul style="list-style-type: none"> 林 知也 加藤幸子
<p>第2ヴァイオリン</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎清水泰明 ◎服部亜矢子 ◎加藤まな ○福留史紘 河堀あずさ 小山あずさ 鈴木浩司 辻田薫り 阿部真弓 坂井みどり 吉田みりの* 	<p>チェロ</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆伊藤文嗣 ○川井真由美 内山剛博 蟹江慶行● 樋口泰世 福岡茉莉子 渡邊ゆかり 	<p>フルート</p> <ul style="list-style-type: none"> 回相澤宏 ◎竹山 菱 フルート&ピッコロ 濱崎麻里子 	<p>ファゴット</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎福士マリ子 ◎福井 蔵 坂井由佳 前関祐紀 	<p>トロンボーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎大馬直人 ◎鳥塚心輔 住川佳祐 	<p>ハーブ</p> <ul style="list-style-type: none"> 渡辺沙羅 	<p>ステージマネージャー</p> <ul style="list-style-type: none"> 西岡理佐 山本 聡
						<p>名誉団員</p> <ul style="list-style-type: none"> 井伊 準◆
						<p>☆ソロ首席奏者 回客演首席奏者 ◎首席奏者 ○フオアシビュラー ●インスペクター *研究員 ◆故人</p>

武満 徹：セレモニアル

武満徹(1930~1996)の「セレモニアル」は、1992年、サイトウ・キネン・フェスティバル松本の開幕にあたり、オープニング作品として委嘱作曲されました。笙とオーケストラのための作品で、小澤征爾の指揮、宮田まゆみの笙、サイトウ・キネン・オーケストラの演奏で、音楽祭のオープニング・コンサートにて初演されました。

曲の構成は、笙のソロによる“序奏”で始まり、続いてオーケストラが演奏し、最後は笙のソロの“後奏”で終わる、武満によれば「オーケストラのための小典礼楽」です。欧文の作品名に副題「—An Autumn Ode—」とありますが、「Autumn(秋)」であるのは武満が1973年に作曲した雅楽曲「秋庭歌」を引用した作品だからです。

オーケストラは、フルート(ピッコロ持ち替え)とオーボエのペア3組が、武満の指示では「聴衆の背後」の客席左・右・正面に「お互いができるだけ離れ、高い場所に配置」され、それ以外の楽器はステージ上で演奏します。

「Largo celestial」(天上のラルゴ)と速度標語が記された笙のソロが「秋庭歌」のメロディを奏でて始まり(秋を表す雅楽の音階「平調」の音楽)、その響きがオーケストラに引き継がれます。オーケストラは、時に雅楽の楽器を思わせる響きで「秋庭歌」による音楽を紡ぎ、最後は笙の響きが静寂と溶け合うように終わります。

マーラー：交響曲 第9番 ニ長調

グスタフ・マーラー(1860~1911)が作曲家として完成させた最後の交響曲、それが交響曲第9番です。

これまでの交響曲でも「死」や「天上の世界」を描いてきたマーラーですが、1907年に長女マリア・アンナが病死し、自身も医師から心臓疾患を告げられ、現実のものとして「死」と向き合うことになります。そしてその直後に着手した作品が、交響曲第8番の“次”の作品、「大地の歌」でした。マーラーは「大地の歌」に「テノールとアルトとオーケストラのための交響曲」と副題をつけていることから、交響曲として作曲していたことがうかがえますが、番号を順番通りにつけるとなると“第9番”。交響曲第9番といえば、ベートーヴェンやブルックナーにとつての最後の交響曲であり、マーラーの妻アルマの回想によれば、死を恐れたマーラーは番号をつけずに「大地の歌」にしたといえます。しかし“第9番”を避け続けることはできず、その次の作品である本作が交響曲第9番となりました。その後、マーラーは交響曲第10番に着手しますが、完成することなく死去。結局、交響曲第9番がマーラーの最後の作品となったのでした。

指揮者として多忙を極めるマーラーは劇場がオフシーズンの夏に避暑地の別荘で作曲に専念するルーティンを送っており、1907年にウィーン宮廷歌劇場の音楽監督を退任し、1908年から活動の場をニューヨークへと広げたのちもそのパターンを続けました。交響曲第9番は、1909年夏、南チロルのトープラッハで作曲を開始。翌年、交響曲第8番を初演して生涯最高の大成功を収める一方、妻アルマの不倫が発覚するという激動の1910年に作品を完成させまし

た。初演はマーラーの生前には叶わず、1912年、ブルーノ・ワルター指揮、ウィーン・フィルの演奏で行われました。

マーラーの交響曲は、声楽付き、多楽章の作品が多いですが、第9番は、器楽のみの全4楽章の交響曲です。いわゆる“普通”の交響曲に見えますがもちろんそうではなく、両端楽章が緩徐楽章、中間楽章が舞曲とロンドという異例の楽章構成で、伝統的な形式を超えた交響曲にしようというマーラーの意気込みがうかがえます。さまざまな作品を引用しながら語られるマーラーの最後の音楽をご堪能ください。

[第1楽章] 「アンダンテ・コモド（心地よい）」と記された第1楽章は、チェロとホルンによるリズム動機、ハーブやホルンの動機、ヴァイオラのさざ波のような6連符に導かれ、穏やかな主題が第2ヴァイオリンによって始められます。主題冒頭のため息のような下行音型は、「大地の歌」の最終曲「告別」の歌の最後「永遠に」の引用とされ、曲の最初から「別れ」が音で語られていきます。情熱的な第2主題があらわれると音楽は推進力を増し、金管楽器のファンファーレ的な動きののち展開部へ。楽章冒頭の素材が暗い響きとなって登場します。その後、主題の変形として、第1・第2ヴァイオリンがJ.シュトラウス2世のワルツ「人生を楽しめ」を引用し（マーラーはこの箇所には「おお若き日よ！ 失われてしまった！ おお愛よ！ 消えてしまった！」と書き込みました）、華々しいクライマックスを経て第2主題の展開のあと、ホルン等に登場する下行音型はベートーヴェンのピアノ・ソナタ第26番「告別」の動機の引用といわれています。そして主題が絡み合いながら高揚しますが、それを否定するかのようにトロンボーン、チューバがリズム動機を強烈に鳴らし、厳かな葬送行進曲風の音楽を経て、再現部へ。フルートとホルン等が呼び交わす「ミステリオソ」と指示された室内楽的なセクションを経て、最後は楽器がだんだんと少なくなり、静かに終わります。

[第2楽章] 舞曲の楽章。ゆったりとしたレントラーで始まり、「フィドルのように」と指示された第2ヴァイオリンが歯切れ良いメロディを奏でます。続いて、速いワルツが登場。さらに、第1楽章冒頭の下行音型を使った、とてもゆっくりとしたレントラーがあらわれます。これら3つの舞曲が順に現れ、時に組み合わせながら展開していきます。

[第3楽章] “ブルレスケ”（冗談）と名づけられたロンド。“反抗的”な様相の主題が激しく奏でられ、この主題を軸に、フーガ風に展開するセクションと交互に進みます。軽やかな主題が登場しますが、これはレハールのオペレッタ「メリー・ウィドウ」の引用といわれるもの。そんななか、天国的な響きのセクションとなり、トランペットを中心として情感豊かなメロディを奏でます（これは第4楽章の主題となります）。そして主題が激しく回帰し、全4楽章中唯一強奏で終わります。

[第4楽章] アダージョの最終楽章。第1・第2ヴァイオリンがG線上で奏でる濃密な響きに導かれて始まります。音楽は4つの部分から成り、第1楽章の主題冒頭の下行音型、また第3楽章の天国的なメロディを用いながら、熱い音楽を紡ぎます。コーダでは「亡き子をしのぶ歌」第4曲を引用し、最後は「息絶えるように」と指示された音が静かに消えるように終わります。

（榎原律子）

ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 2025-2026シーズン

各回 14:00 開演

後
期

第213回 12月6日(土)

年末恒例、ミュージアの「第九」

指揮:下野竜也 ※当初発表から変更になりました

ソプラノ:三宅理恵

メゾ・ソプラノ:花房英里子

テノール:山本耕平

バス:妻屋秀和

合唱:東響コーラス

ワーグナー:楽劇『ニュルンベルクのマイスタージンガー』

第1幕への前奏曲

ベートーヴェン:交響曲 第9番「合唱付き」

予定枚数終了

下野竜也
©Shin Yamagishi

三宅理恵



花房英里子



山本耕平

妻屋秀和
©Takafumi ueno

第214回 2026年1月17日(土)

情熱のベートーヴェン

指揮:大植英次

ピアノ:清水和音

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」

ベートーヴェン:交響曲 第7番

S・A …… 予定枚数終了
B・C …… 残席僅少

*最新の残席状況はお問合せください。

大植英次
©斎島隆清水和音
©Yuji Hori

第215回 2026年2月1日(日)

華麗なるモーツァルト&メンデルスゾーン

指揮:川瀬賢太郎

ピアノ:牛田智大

モーツァルト:歌劇『フィガロの結婚』序曲

モーツァルト:ピアノ協奏曲 第26番「戴冠式」

メンデルスゾーン:交響曲 第4番「イタリア」

予定枚数終了

川瀬賢太郎
©Tomoko Hidaki牛田智大
©Ariaga Terasawa

お問合せ・お申込み

*ミュージア友の会会員の割引販売は(因)にて受付。

*最新の開催情報・残席状況は公式サイトでご確認ください。https://www.kawasaki-sym-hall.jp/

■ミュージア川崎シンフォニーホール

因 電話予約 044-520-0200(10:00~18:00)

因 4階チケットカウンター 10:00~19:00

因 ミュージアWebチケット https://muza.pia.jp/

(登録無料・24時間受付 ※火・水 2:30~5:30を除く)

■TOKYO SYMPHONY チケットセンター

044-520-1511(平日10:00~18:00/土日祝休み)

TOKYO SYMPHONY オンラインチケット

https://tokyosymphony.jp(1回券のみ)

*東響会員の割引販売を受け付けます。

来年度ラインナップ発表!

ミュゼザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 2026-2027シーズン 各回 14:00 開演

前期

第216回 2026年4月25日(土)

指揮: パブロ・エラス=カサド

シューベルト: 交響曲 第7番「未完成」

ブルックナー: 交響曲 第6番

第217回 2026年5月17日(日)

指揮: ロレンツォ・ヴィオッティ(東京交響楽団 次期音楽監督)

〈音楽監督就任披露〉

ベートーヴェン: 交響曲 第1番

マーラー: 交響曲 第1番「巨人」

第218回 2026年6月14日(日)

指揮: オスモ・ヴァンスカ

ベートーヴェン: 交響曲 第8番

ラフマニノフ: 交響曲 第2番

第219回 2026年7月11日(土)

指揮: 熊倉 優 ヴァイオリン: ドミトロ・ウドヴィチェンコ

モーツァルト: 歌劇『ドン・ジョヴァンニ』序曲

コルンゴルト: ヴァイオリン協奏曲

R. シュトラウス: 交響詩「ドン・ファン」

R. シュトラウス: 交響詩「死と変容」

第220回 2026年9月26日(土)

指揮: ユベール・スターン(東京交響楽団 桂冠指揮者)

ピアノ: アレクサンドラ・ドヴガン

メンデルスゾーン: 序曲「フィンガルの洞窟」

ショパン: ピアノ協奏曲 第2番

メンデルスゾーン: 交響曲 第4番「イタリア」

後期

第221回 2026年10月10日(土)

指揮: ロレンツォ・ヴィオッティ(東京交響楽団 次期音楽監督)

J. S. バッハ(齋藤秀雄編): シャコンヌ

シヨスタコフ=ヴィチ: 交響曲 第10番

第222回 2026年12月5日(土)

指揮: 沼尻竜典 ソプラノ: 船越亜弥

メゾ・ソプラノ: 山際きみ佳 テノール: 澤武紀行

バリトン: 池内 響 合唱: 東響コーラス

武満 徹: 混声合唱のための「うた」から“翼”

武満 徹(沼尻竜典編): 混声合唱のための「MI・YO・TA」

武満 徹: 混声合唱のための「うた」から“小さな空”

ベートーヴェン: 交響曲 第9番「合唱付き」

第223回 2027年1月23日(土)

指揮: 大井 駿

モーツァルト: 歌劇「魔笛」序曲

モーツァルト: 交響曲 第39番

J. シュトラウス2世: 皇帝円舞曲

R. シュトラウス: 「ばらの騎士」組曲

第224回 2027年2月14日(日)

指揮: 喜古恵理香 ピアノ: デジュー・ラーンキ

武満 徹: 3つの映画音楽 モーツァルト: ピアノ協奏曲 第23番

シベリウス: 交響曲 第2番

第225回 2027年3月28日(日)

指揮: 大友直人(東京交響楽団 名誉客演指揮者) チェロ: 北村 陽

ドビュッシー: 小組曲 サン=サーンス: チェロ協奏曲 第1番

チャプリエ: 狂詩曲「スペイン」

ドビュッシー: 交響詩「海」管弦楽のための3つの交響的素描

	S席	A席	B席	C席	ミュゼザ友の会 & 東響会員先行販売	ミュゼザWeb & TOKYO SYMPHONY オンラインチケット先行販売	一般発売
年間セット券[10公演]	51,000円	43,500円	33,750円	26,250円	12月8日(月)	12月11日(木)	12月16日(火)
前期セット券[5公演] (第216回~第220回)	26,800円	22,800円	18,000円	14,000円	2026年2月3日(火)	2026年2月5日(木)	2026年2月10日(火)
後期セット券[5公演] (第221回~第225回)	27,600円	23,600円	18,000円	14,000円	2026年6月2日(火)	2026年6月4日(木)	2026年6月9日(火)
1回券 (第217・221・222回)	7,500円	6,500円	4,500円	3,500円	前期1回券は、前期セット券と同時発売		
1回券 (第216・218~220・223~225回)	6,500円	5,500円	4,500円	3,500円	後期1回券は、後期セット券と同時発売		
*ミュゼザ友の会・東響会員は10%割引							

25歳以下当日券 (学生に限らず25歳以下の方) 1,000円(要問合せ)

*セット券のミュゼザ友の会・東響会員料金はありません。
*セット券の取り扱いは、ミュゼザ川崎・TOKYO SYMPHONYチケットセンターのみ。
*年間・前期セット券は2026年3月20日(金・祝)、後期セット券は2026年9月19日(土)までの販売です(販売終了当日はミュゼザ窓口直接購入のみ)。

お問合せ・お申込み

■ミュゼザ川崎シンフォニーホール

☎ 電話予約 044-520-0200(10:00~18:00)

☎ 4階チケットカウンター 10:00~19:00

☎ ミュゼザWebチケット <https://muza.pia.jp/>

(登録無料・24時間受付 ※火・水 2:30~5:30を除く) 発売初日は10:00~

■TOKYO SYMPHONY チケットセンター

044-520-1511(平日10:00~18:00/土日祝休み)

TOKYO SYMPHONY オンラインチケット

<https://tokyosymphony.jp> 発売初日は10:00~

*東響会員の先行予約・割引販売を受け付けます。

セット券も Webで 購入可能に!

*ミュゼザ友の会会員の先行予約・割引販売は☑にて受付。*ミュゼザ友の会の先行発売初日は電話予約とWebのみ受付。
*最新の開催情報・残席状況は公式サイトでご確認ください。 <https://www.kawasaki-sym-hall.jp/>

モーツァルト・マチネ 2025-2026シーズン

各回11:00開演(約70分/途中休憩なし) 管弦楽: 東京交響楽団

第63回 11月29日(土)

ピアノ×オーケストラが生み出す、宇宙と天国

ピアノ&指揮: 小菅 優

- ◆モーツァルト: ピアノ協奏曲 第25番 ハ長調 K. 503
- ◆藤倉 大: ピアノ協奏曲 第3番「インパルス」
(アンサンブル版/長谷川綾子、
神戸市室内管弦楽団共同委嘱作品)

※当初発表から曲順が変更となりました。



小菅 優
©Takehiro Goto

第64回 2026年2月14日(土)

ニ長調で聴くモーツァルト

指揮: 原田慶太楼 (東京交響楽団 正指揮者)
ヴァイオリン: 成田達輝*

〈オール・モーツァルト・プログラム〉

- ◆歌劇『ドン・ジョヴァンニ』序曲 K. 527
- ◆交響曲 第4番 ニ長調 K. 19
- ◆??? (ミステリーピース) ~当日のお楽しみ~
- ◆交響曲 第31番 ニ長調 K. 297(300a)「パリ」
- ◆ヴァイオリン協奏曲 第2番 ニ長調 K. 211*



原田慶太楼
©kumiko suzuki



成田達輝
©Marco Borggreve

各1回券 …… 4,000円* U25 (小学生~25歳) …… 1,500円

好評発売中!

*ミュージア友の会会員は10%割引

モーツァルト・マチネ 2026-2027シーズン

ラインナップ発表! >>>

詳しくは挟み込みチラシ&Webをご覧ください。



お問合せ・お申込み

ミュージア川崎シンフォニーホール
TEL 044-520-0200

*U25の取り扱いにはミュージアとびあのみ(電話・窓口・Web)
*最新の開催情報は公式サイトでご確認ください。 <https://www.kawasaki-sym-hall.jp/>

- 電話予約 10:00~18:00
- 4階チケットカウンター 10:00~19:00
- ミュージアWebチケット <https://muza.pia.jp/> (登録無料・24時間受付 ※火・水2:30~5:30を除く)



地域の健康と安心を奏でます



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

住所：神奈川県川崎市幸区大宮町31番27

URL：<http://www.saiwaihp.jp/>

TEL：044-544-4611(代)



出会う。育む。分かちあう。 サントリーの文化活動

1986年、「世界一美しい響き」をコンセプトに誕生したサントリーホール。国内外から高い評価をいただいていた響きを大切に継承しながら、すべての人が快適に過ごせるようユニバーサルデザインを推進するなど、より多くの方々に音楽を楽しんでいただける場となることを目指してきました。芸術と人との出会いの場をつくり、ともに文化を育み、感動を分かちあいたい。創業当初から変わらない思いがあるからこそ、時代に合わせて進化していく。サントリーの文化活動は、これからも新たな挑戦を続けていきます。

Hibiki to the World



SUNTORY HALL



ぴあがお届けする、
落語の動画配信サブスク



月額
990円
(税込1,089円)

ぴあ

落語ざんまい



2,000本以上の
落語の高座映像が
スマホ/パソコンで
見放題!

配信中の落語家は約200名!
人間国宝から期待の若手まで
盛り沢山の内容をお届け

詳しくは
こちら!



Qぴあ落語ざんまい

イラスト: ©ちばてつや



ENEOS

とどけ! 熱いエネルギー ENEOS

ミュージア川崎シンフォニーホールの公演事業は
ホールスポンサーの皆様によって支えられています

(敬称略・50音順)

・法人・

● 特別賛助会員

川崎幸病院	キャノン株式会社	ジェクト株式会社
川崎信用金庫	サントリーホールディングス株式会社	三井不動産グループ

● 賛助会員

税理士法人あおぞら会計 株式会社イープラス ENEOS株式会社 神奈川臨海鉄道株式会社 川崎アゼリア株式会社 公益社団法人川崎市医師会 川崎市信用保証協会 公益社団法人川崎市病院協会 一般社団法人川崎市薬剤師会 川崎鶴見臨港バス株式会社 川崎日航ホテル	かわさきファズ株式会社 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 ケイジーケイ株式会社 京浜楽器株式会社 公益財団法人JFE21世紀財団 株式会社シグマコミュニケーションズ セレサ川崎農業協同組合 大本山川崎大師平間寺 高橋昌也税理士・FP事務所 株式会社デイ・シー 東亜石油株式会社	株式会社東芝 日本冶金工業株式会社 川崎製造所 びあ株式会社 ホテルメトロポリタン 川崎 ヤマハサウンドシステム株式会社 株式会社ワイイーシーソリューションズ * 大宮町町内会
--	--	---

他3法人

● わくわくミュージア 法人サポーター

稲毛神社	おつけもの慶
------	--------

・個人・

阿部孝夫	岡垣克則	久住映子	杉山弘子	長谷川喜代江	山田昌克
新井智彦	小笠原 将	小菅みつほ	鈴木 徹	林 直人	A.H
市橋信一郎	岡田 元	国府保周	高井延幸	廣瀬治昇	D.Y
井上敏昭	岡野 功	後藤 実	高橋美子	藤嶋とみ子	K.O
宇佐美清一	小倉ヒロ・ミハエル	小林知子	竹内啓介	堀江智巳	M.C
遠藤智和	小野洋彰	佐伯 昇	都築 豊	前田 泉	N.A
大越麻美子	金山直樹	佐藤晴茂	中村紀美子	松嶋邦生	T.Y
大須賀徳也	喜多紘一	佐野義寛	西 洋子	山内利夫	
大塚具幸	木伏源太	新保和浩	西山英昭	山下啓史	他匿名16名

(2025年10月31日現在)

|| ご支援のお願い ||

ミュージア川崎シンフォニーホールは川崎はもとより、世界における音楽文化の発展に尽力してまいります。
芸術にご理解の深い法人、個人の皆様にご支援をお願いしております。
多くの皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。
詳しくはスポンサー担当 (TEL 044-520-0100) までお問合せください。

 TOKYO
SYMPHONY
ORCHESTRA
Jonathan Nott, Music Director

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL


音楽のまちかわごき

